

ひたち
生き生き
百年熟

熟研

見る・聞く
さがする
夢がある

発行
研究会
事務局
生涯学習課



敬老 形老 軽老 荊老 慶老

代表世話人
掛札 優

本年度の学習会は、アンケートにより皆様のご意見を入れて計画致しました。この結果、第一回学習会の「第二の人生について」は本音による熱心な意見交換が出来、「日立再発見」では本音に再発見が出来た方も多しと思えます。

また、初めてのお楽しみ学習「茶道」も本物の茶室での一服、生け花の体験など楽しい時間が過ごせたと思っております。学習会を充実するには、多くの方々のご意見とご参加が必須です。本年度後半も積極的なご提案とご参加をお待ちしています。

当年九月十八日の朝日新聞に八十一歳の方から、今は敬老などと言っているが実態は形だけの形老だ。いずれは軽老となり

勤労感謝の日

嶋野末吉

十一月二十三日は勤労感謝の日である。これはその年に収穫した新穀を神に供え、それを天皇が神と一緒に食べる祭事(新嘗祭)からきていることを知らない人も多い。日本が農業社会だったことの名残りで、秋の収穫を神に感謝する行事であるが、農業に関係のない部会人も、まして勤労と来ない祝日であるの当り前であろうか。今年も米は豊作である。しかし農家はそれ

を喜んでばかりはおれない。米の値下げから来年度の減反へと話が進む。農家が豊作を喜ばず、役所は余剰米に困り、市民は安くならない米に憤慨する。

ドウナツテイルノダ
ドウ。

銀を磨く

畑山 和子

シルバーエイジという言葉をご存じです。金や銅ではなく銀というの磨くのを怠るとすぐさびついてしまいます。昔、銀はいくつもの顔をもっています。

まばゆいばかりに輝く姿、さびて黒ずんでつやをなくした姿、そして深く落ちついた輝きをもついぶし銀。人間のシルパーエイジも似ていません。心のあり方でどんな銀になるかわわつていくと思

います。いぶし銀になるための「銀を磨く十ヶ条」を御紹介します。

- 一、まわりの人と仲良く暮らす
- 二、人を尊敬し、自らも努力する
- 三、人への気配りを忘れない
- 四、楽しみを持って元気に生きる
- 五、神経質にならない
- 六、生きがいをもつ
- 七、頭を使う
- 八、体の健康を保つ
- 九、一人で閉じこもらない
- 十、以上のことをを若い時から心がける

学習会、実績と予定 (平成9年)

- 1 4.26 (土) 第二の人生を考える
- 2 5.24 (土) 私の定年後の生き方
- 3 7. 7 (土) 日立再発見
- 4 7.15 (土) 日立市の課題と対応策
- 5 8.23 (土) 地域活動について
- 6 9.20 (土) 脳・神聖なる小宇宙
- 7 11.20 (木) 税について
- 8 12. 6 (土) 日立の歴史
- 9 12.20 (土) 学習会まとめ

お楽しみ学習会、実績と予定

- 1 6.22 (土) 茶道
- 2 10.11 (土) ふるさと巡り

川...

神永 晃

敗戦、そして復員。地方公務員としての私の人生はそれから始まった。以来三十六年勤続、その間営々として公僕精神に徹し、社会福祉や社会教育に努めた。定年退職してすでに十年が経った。この間私のパワーは過去と比較にならない全開の仕様であった。いわゆる生涯学習である。戦雲急を告げる昭和十九年四月、学業半ばにして航空兵を志した私が現役を退いた今、自由にできる時を得たのである。私はチャンスを見逃さず何事にも挑戦した。日立市と茨城キリスト教大学とで連携しての市民シルパー聴講制度。十年続いている。県長寿学園基礎コース、専門課程福祉コース、県民大学など連続に、或ときは同日行事が重なったりしながらも時は流れていった。それは我ながら充実した日々であった。幾つもの生涯学習の波に押し流されることもなく、カナダ、中国、ヨーロッパ等海外研修の旅にも参加をし、見聞を広めることが出来た。

サムエル・ウルマンの「青春とは人生のある期間でなく心の持ち方をいう。年を重ねるだけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる」と。私はウルマンのこの詩が好きだ。そして私の信念はウルマンと同じだ。

こぼろぎのふいに鳴き止む 夜のしじま

末松 倫子

心地よい夜風が、机に向かた少し上から社会をサポークか私を感傷的にします。トする立場だと思つていまはた又年令がそうさせるのです。が、私はどうでしょう。半世紀生きた事になります。熟な点が数多くあり、まだもう五十年も。わたくしは、やつと熟年研究会の方々から市民社会へ。家庭かと思つております。私の心を、会から市民社会へ。お互いに道を迷つています。会の殆どの方を、実社会で充分活躍しうると考えてみました。は熟年として側面から、ま